令和４年１月２４日

保護者の皆様（保護者配布）

西東京市立谷戸第二小学校
校　長　　鈴木　優介

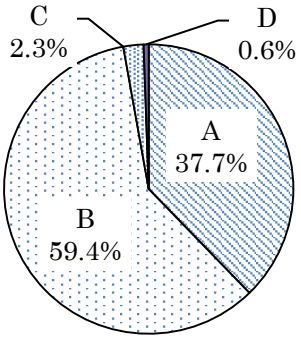
令和３年度　後期学校評価アンケートの結果

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。さて、１２月初めにご回答いただきました学校評価のお礼とご報告をいたします。この結果は、保護者の皆様からの貴重なご意見として受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。なお、後日本校のホームページにも公開しますので、ご覧ください。

１　保護者アンケートの結果

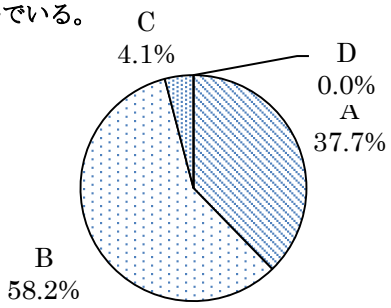
（　Ａ＝とてもそう思う　Ｂ＝そう思う　Ｃ＝あまりそう思えない　Ｄ＝そう思えない　）

１　学校は、児童の学習規律を確立し、基礎学力の定着を図っている。



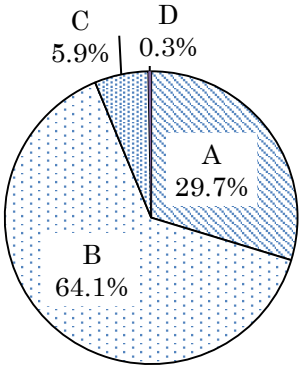
Ａ・Ｂ合わせて９７％以上の高い評価をいただきました。新型コロナウィルス感染流行の関係で、様々な制限はありますが、児童全員が安心して心身ともに充実した学習活動に取り組めるよう、今後も家庭と連携しながら教職員一丸となって努めてまいります。

２　学校は、児童の規範意識の向上を目指し、適切なあいさつや言葉遣いなどの礼儀を身に付けられるよう、学習・生活指導に取り組んでいる。



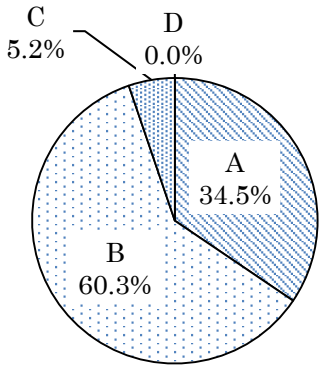
Ａ・Ｂ 合わせて９５％以上の高い評価をいただきました。日々の声掛け等により、相手の目を見てあいさつできる児童が増えました。学習の中でも、様々な人と関わる機会が増え、相手に対して適切なあいさつや言葉遣いを意識して接することができています。引き続き、児童の規範意識の向上を目指し、よりよい指導ができるよう努めてまいります。

３　学校は、思いやりのある児童の育成に努め、いじめの未然防止、早期発見に取り組んでいる。



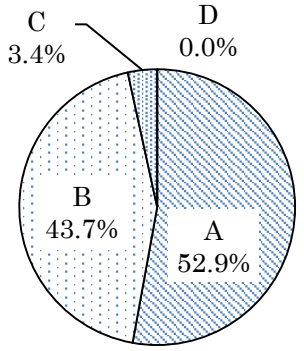
前期と同様、Ａ・Ｂ合わせて９３％の高い評価をいただきました。子どもたちが心身ともに安心した学校生活が送れるよう児童とのコミュニケーションを大切にしていきます。また、一人一人の声に耳を傾け、些細な事でも相談しやすい環境作りと組織的な対応を目指した教育活動に取り組んでいきます。

４　学校は、兄弟学級を中心とした異学年交流等を通して、児童と児童、児童と教師のかかわりを重視した教育活動に取り組んでいる。



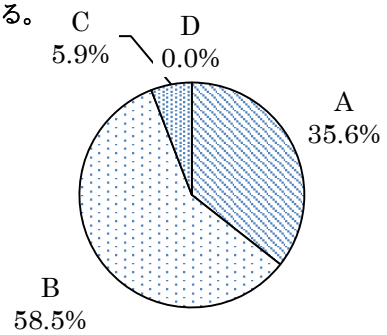
Ａ・Ｂ合わせて、９４％の高い評価をいただきました。なかよし班活動では、今年から落ち葉拾いをしました。奉仕活動を通しても異学年交流を行いました。今後も児童同士、教師とのかかわりを大切に、教育活動に取り組んでいきます。

５　学校は、タブレットを活用し、西東京市ＧＩＧＡスクール構想に取り組んでいる。



Ａ・Ｂ合わせて９６％以上の評価をいただきました。９月はオンライン授業を行いました。子供たちもタブレットの活用に慣れてきています。タブレットの使い方や情報モラルについても合わせて指導していきます。

６　学校は、保護者や地域の方々にボランティアやゲストティーチャーを依頼したり、学校公開・ホームページ・メール配信を使ったりして、地域に開かれた教育活動を実施している。



Ａ・Ｂ合わせて９４％以上の評価をいただきました。２学期には、新型コロナ感染防止対策をしながら、学校公開や展覧会を行いました。今後も新型コロナ感染の状況を踏まえ、開かれた教育活動を目指していきます。

２　保護者アンケートの分析

前期に引き続き、今回のアンケートも、全ての項目で「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて約９割に達するという評価をいただきました。

「あまりそう思えない」「そう思えない」と評価いただいたところがある部分については、謙虚に受け止め、学校運営の工夫・改善に努めてまいります。

３　児童対象アンケートの結果

評価 ４ そう思う　３ だいたいそう思う　２ あまりそう思わない　１ そう思わない	４	３	２	１
①　あなたは、授業が始まる前に、きちんと座り、学習の準備を整えられましたか。	34%	50%	13%	3%
②　あなたは、楽しく、意欲的に授業や学習に取り組めましたか。	48%	37%	11%	4%
③　あなたは、あいさつをしたり、言葉遣いに気を付けたりして生活できましたか。	40%	44%	13%	3%
④　あなたは、気持ちよく学校生活を送るために、きまりやルールを守ろうと心がけましたか。	58%	35%	6%	1%
⑤　あなたは、自分や友達の命や心を大切にしていますか。	73%	21%	5%	1%
⑥　授業では、自分の思いや考えをノートに書いたり、友達と話し合ったり、発表できましたか。	44%	37%	15%	4%
⑦　いいところや頑張ったことを先生や友達同士で認め合ったり、褒め合ったりしましたか。	40%	36%	16%	8%
⑧　あなたは、きまりを守って、すすんでタブレットを活用することができましたか。	60%	31%	7%	2%

４　児童アンケートの分析

８項目全てにおいて８割から９割の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えています。これは、学校生活の多くの場面で満足傾向にあると捉えられます。

⑧の項目では前期よりも「そう思う」と答えた児童が減り「だいたいそう思う」と答えた児童が増えました。タブレットの活用について、いろいろな課題が出てくるとは思いますが、その都度修正していきたいと思います。「ややそうおもう」「おもわない」の項目についてはほとんど変化がありませんでした。授業改善に取り組むとともに、個に応じた手立ても図っていきたいと思います。

５ 学校評価のまとめについて

この評価の結果を受けて、学校教職員で話合いを深めるとともに、学校運営連絡協議会委員による学校関係者評価委員会にて討議していただくことになります。学校としての特色は３学期も充実させ、教育活動に反映させていきます。今後の課題と判断されるものについては、具体的な対応を進めてまいります。

６ 保護者からのご意見について

・タブレットを活用したプチ算ドリルの取り組み等、楽しみながらできてよいと思う。ホームページの活動日記で学校の様子が見ることが出来るのが嬉しい。日々の更新ありがとうございます。

・挨拶がとても身についている（来客だけでなく、通学路の工事現場の方にも挨拶をしている様子）

・ひさしぶりの学校公開や、展覧会などを見られてとても嬉しくなりました。毎日楽しく学校に行くことができるのも、担任の先生をはじめ、先生方のおかげです。いつもお世話になりありがとうございます。

・社会科見学や多摩六都科学館見学など校外学習にも積極的に取り組んでくださり、ありがとうございます。

・緊急事態宣言中は、急に決まったリモート授業や給食の登校・配膳など、子供たちのために様々なご対応をいただきありがとうございました。感染者の増える中、安心して過ごすことができ、感謝しております。

・校内や学校周辺がいつもきれいにされていて、清掃されている方に感謝です。校門のお花の手入れもありがとうございます。登下校に旗振りをしていただいているシルバーの皆様ありがとうございます。

・校長先生の「家庭学習虎の巻」毎回楽しみにしています。字のことや計算で子も親も大変参考になり、次の発行が待ち遠しいです。

・９月のオンライン授業では、先生方がいろいろと工夫しながら丁寧に熱心に取り組んでくださったことに感謝しています。

・２学期はオンライン学習に始まり、いろいろなことが前例のない中先生方が柔軟に熱意をもって対応してくださり、子供たちに活気が出たと感じています。

・欠席等の連絡用にアプリを活用できるようになると嬉しい。

⇒システム的にまだ整っていないので難しいです。基本的には連絡帳ですが、コロナ禍では電話で OK としています。

・月末に翌月の予定表をもらいますが、４時間授業に変更になる日はもう少し早めに分かると助かります。

⇒年間行事予定に４時間の日を明記します。変更することもありますので、その際は学年だより、学校だよりをご参照ください。

・PC での宿題（夏休みも含め）が増えており、書くことをしないことで思考過程が不十分になりがちだと感じる。（PC でもがきながら答えを出すように子供には言っていますが）

⇒市全体の取り組みとして、特に長期休業中の課題は紙ベースからタブレットへ移行しています。書く活動もバランスよく取り入れられるよう工夫してまいりまします。

・（設問の）３番に関してですが、すべて先生方に見つけていただくのは困難かと思います。アンケート等を利用し、早期発見に活かしていただければと思います。ただ、アンケート結果に対し、該当児童や記入した児童を一度にまとめて話を聞いたりするのは、児童によっては負担になるかと思いますので、方法を考えていただけると良いかと思います。

⇒個別に話を聞いたり、学年、学校で組織的に聞き取りや指導をしていくよう工夫していきます。

・タブレットを扱うことがすべていいことなのか、疑問に思うこともあります。

⇒もちろん全てではありません。アナログの良さも生かしながらバランスの良い指導をしてまいります。